

日本共産党
国会議員団

東海ブロックニュース

2026 年
1 月 9 日
第 1 号

日本共産党国会議員団東海ブロック事務所
名古屋市中区新栄三丁目十二番二十五号
電話 〇五二（二六四）〇八三三
FAX 〇五二（二六四）〇八五〇
Eメール tokaibc@ybb.ne.jp

暮らしと経済、平和に希望を 日本共産党 各地で新春宣伝

東海地方の日本共産党の党組織は、高市政権による大軍拡や、政治の右翼的潮流の強まりに対し、時流に流されず正論を貫き憲法を真ん中にした共同を広げ、暮らしと経済、平和に希望が持てる政治をつくらうと、各地で宣伝に打って出しました。

エラ侵略と大統領夫妻の拘束に対し、世界から批判と抗議の声が続いています。

静岡の鈴木せつ子県議候補（葵区）は5日、JR静岡駅前で「アメリカの行為は国連憲章に明確に違反します。世界の人たちが平和に暮らしルールを守る行動に立ち上がりましょう」と訴えました。

岐阜市では1日、中川裕子県議、堀田信夫市議、山越徹市委員長らが宣伝。中川県議は「大型公共事業の借金返済が県財政を圧迫しています。県民が求めているのは福祉や教育、暮らしを応援することです」と訴えました。

25日投票の岐阜市長選に「清潔で住みよい革新岐阜市政をつくる会」から無所属で立候補する大須賀しづか氏（日本共産党推薦）もマイ

クを持ち、「中心部の大型ビルよりも平場の市民の暮らしを応援する」と思いを訴えました。

津市では目前に迫った市議選（18日告示、25日投票、定数30、4減）

で勝利をめざす、たき勝弘市議、新人的もろずみ彩両氏が街頭宣伝に取り組みました。たき候補はトランプ政権によるベネズエラ攻撃は国連憲章・国際法を踏みにじるもので、高市政権はそれにもが言えないと批判しました。もろずみ候補も市内の交差点で支部・後援会の人たちとスタンディングに取り組みました。



左から鈴木あやこ、岡田ゆき子、みつなか美由紀、本村、田口かずとの各氏

年内の解散・総選挙の可能性もある中、もとむら伸子衆院議員は、1日〜5日、愛知県の名古屋市、一宮市、豊田市、豊川市で、すやま初美党副委員長や地方議員・予定候補らと宣伝に立ちました。

一宮市では県議選予定候補の河江明美県書記長、豊川市では下奥奈歩県議（県議選豊橋市区予定候補）も一緒に訴えました。

もとむら氏は高市政権の大軍拡予算を批判し「軍備拡大の悪循環で安心は作れない、平和と希望を広げていく一年とするために全力を挙げる」と訴えました。

3日に起きたアメリカのベネズ



左から大須賀氏、松岡清党県委員長、森下満寿美市議、中川県議、堀田市議



滝市議



もろずみ氏

東海ブロックいっせいで宣伝は1月26日(月)です